

(6)



(¥ 1,500)

請

实用新案登録願(1)

昭和 47 年 3 月 15 日

特許庁長官 井 土 武 久 殿

1. 考案の名称 リベット

2. 考案者

住 所 オオサカフネヤカワシコオリ
大阪府寝屋川市郡 1 2 8 8 番地
氏 名 ナカニシヨシオ
中 西 義 雄

3. 実用新案登録出願人

住 所 オオサカシキタクテンマノシジ
大阪市北区天満橋筋 5 丁目 68 番地の 3
氏名、名称 ナカニシキンゾクコウギョウ
中 西 金 属 工 業 株 式 会 社
国 籍 ナカニシヨシオ

4. 代理人 代表者 中 西 義 雄

住 所 大阪市南区銀谷西之町 57 番地の 6 イナビル 5 時 大阪 (252) 2436
氏 名 (2441) 井理士 岸 本 守 一
(外 2 名)

5. 添附書類の目録

- | | | |
|------------|-----|--------------|
| (1). 明細書 | 1 通 | 48-104971-01 |
| (2). 図面 | 1 通 | |
| (3). 委任状 | 1 通 | |
| (4). 審査請求書 | 1 通 | |

審査
47.3.17
結果
登録

47 031632

方式 (中空)

明細書(1)

1 考案の名称

リベット

2 実用新案登録請求の範囲

リベット軸部が頭部側よりテーパー部と円柱部とで構成され、これら両部の境界が、接合すべき複数枚の板のうち前記頭部側の板にあけられたリベット孔内に位置せられるようになされたリベット。

3 考案の詳細な説明

この考案は複数枚の板の接合に用いられるリベットに関し、その目的とするところは、上記接合作業を容易に行うことができかつ締結する板に悪影響を及ぼすことのないリベット形状を提供するにある。

従来一般にリベットの軸部は真直な円柱状に

形成せられているが、これを直径の略等しい接合すべき板側のリベット孔に挿入する操作が難かしく手間どる欠点があつたし、また挿入後のかしめ作業に際して板を反転してリベット頭部を下向きにすると容易に脱落するため、予め頭部を当て盤で押さえてから反転するようになればならず、接合作業が面倒であつた。またリベット孔への挿入を容易に行いうるようになるため、オ 3 図に示すように、軸部 02 を根本の部分からテーパー状に形成したりベット印が知られているが、軸の先端が細くなるためかしめが不完全になるおそれがあるのみならず、締結すべき 2 枚の板 03 04 のうちとくにかしめ側の板 04 のリベット孔 06 との間に大きな間隙 01 を生じるため、両板 03 04 の関係位置にずれを生じて正確な接合ができなくなるおそれがあつた。また

48-104971-03

(2)

逆に上記間隙(c)をできるだけ小さくするためにリベット孔^{頭部}の直径を小さくすると、オ3図に鎖線で示すように工作精度のばらつきにより軸部^{頭部}の大部分が孔^{頭部}にはまり込まない場合を生じ、これを無理に圧入すると、とくにリベット頭部^{頭部}側の板^{頭部}に矢印方向の応力が働いて該板に歪みを生じさせるおそれがある等の問題があった。

この考案は上記のような問題点の合理的的解決をはかつたもので、その実施例をオ1図およびオ2図に示す。同図において、この考案に係るリベット(1)は、その軸部(2)が、頭部(3)側より 10° ～ 20° の角度をもつたテーパー部(2a)と真直ぐな円柱部(2b)とで構成されており、かつ上記テーパー部(2a)と円柱部(2b)との境界(4)が、接合すべき1対の板(5)(6)のうち、リベット頭部(3)側の

板(5)のリベット孔(7)内に位置せられるようにな
されている。また軸部(2)の先端は挿入操作を容
易にするため先細のテーパー部(9)となされてい
る。

この考案に係るリベット(1)は上記のような構
成を有するので、板(5)(6)のリベット孔(7)(8)を軸
部(2)における円柱部(2b)の直径よりやゝ大き目
に形成し、これに軸部(2)を挿入すればオ1図に
示すように頭部(3)が板(5)面からやゝ浮いた状態
となる。そこでこれをさらに圧入すれば、オ2
図に示すようにテーパー部(2b)とリベット孔(7)
の周面が圧接してリベット(1)は板(5)側に仮止め
される。

したがつてこの仮止め後、他方の板(6)をはめ
合わせてかしめを完了するまで、リベット(1)が
抜け落ちるおそれがなく、その間の各作業を容

易に行いうる。また上記仮止めを行うさい。リベット孔(7)の周囲はテーパー部(2a)によって押し抜けられる方向の力を受けるが、境界線(4)がリベット孔(7)内に位置せられることにより、上記の力による影響は極くわずかであり、板(5)に有害な歪等を生じさせるおそれはない。

この考案は上述のように、リベットの挿入を、その円柱部の直径よりやゝ大き目のリベット孔に対して極めて楽になしうると共に、該リベットを予め接合すべき一方の板に仮止めしうるので、その抜け落ちに気を配ることなく接合作業を容易にかつ正確になしうるものである。

4. 図面の簡単な説明

オ1図およびオ2図はこの考案の実施例を示す断面図、オ3図は従来のテーパー型リベットを示す断面図である。

(1) ... リベット、(2) ... 軸部、(2a) ... テーパー部、(2b) ... 円柱部、(3) ... リベット頭部、
(4) ... テーパー部と円柱部との境界、(5)(6) ... 板、(7)(8) ... リベット孔。

以 上

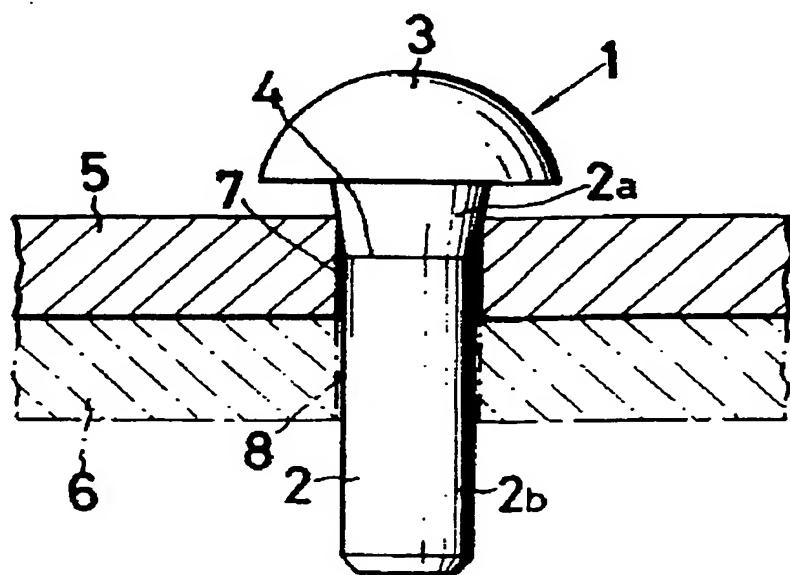
実用新案登録出願人 中西金属工業株式会社

代 理 人 岸 本 守 一

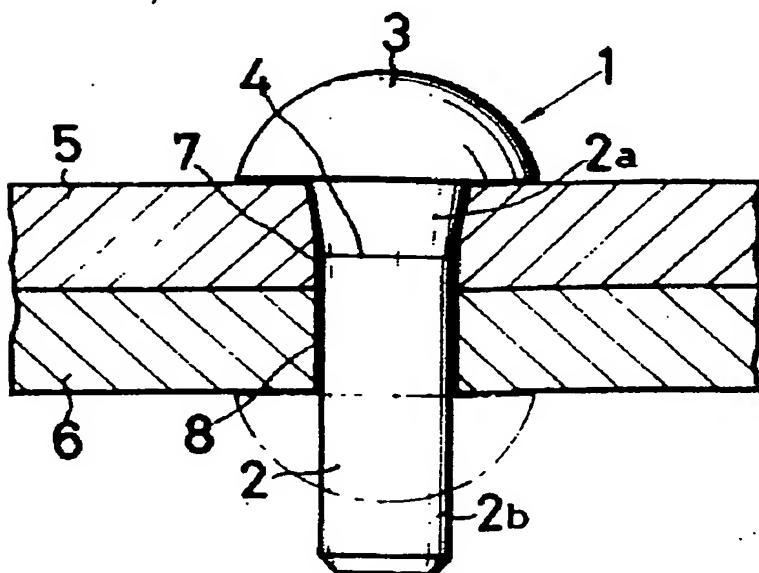
外 2 名

48-104971-07

第1図

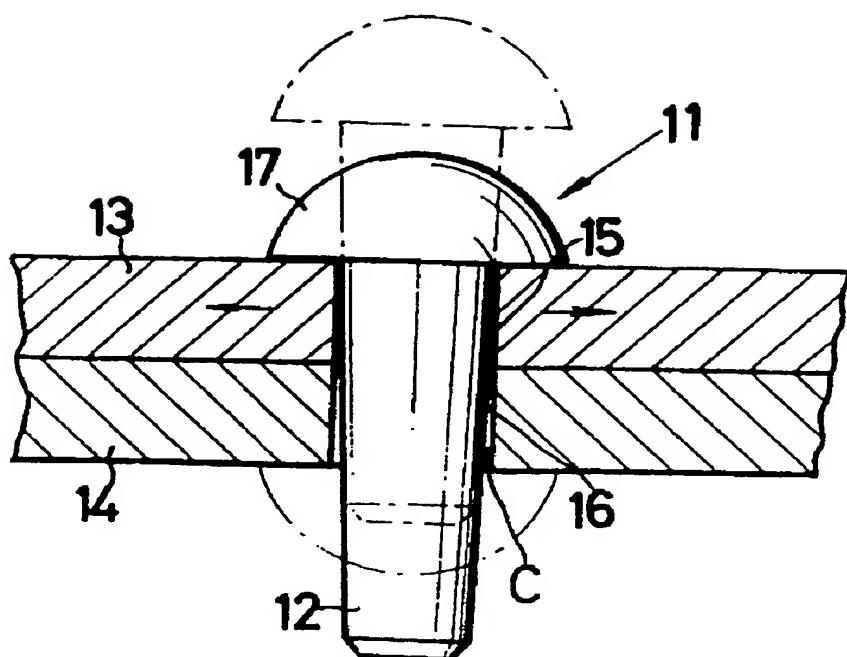


第2図



48-104971-08

第3回



48-104971-09

104971 2/2

守本水

6. 前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

(1). 考案者

(2). 実用新案登録出願人

(3). 代理人

住 所 大阪市南区難波谷西之町57番地の6 イオパビル5階 06(252) 2136

氏 名 (6087) 弁理士 岸 本 瑛 之 助

住 所 同 所

氏 名 (7116) 弁理士 清 水 久 義

48-104971-10

手 続 補 正 書

指合補正

昭和 47 年 6 月 6 日

特許庁長官 井 土 武 久 殿

1. 事件の表示 昭和 47 年実用新案登録願 第 31632 号

2. 考案の名称 リペット

3. 補正をする者

事件との関係 実用新案登録出願人

住 所 大阪市北区天満橋筋 5 丁目 68 番地の 3

氏名・名称 ナカニシキンシクコウギヨウ

中西金属工業株式会社

4. 代理人

住 所 大阪市南区鶴谷西之町 57 番地の 6 ナハビル 5 時

電話 大阪 (252) 2436 - 4387

氏 名 (211) 代理士 岸 本 守 一

外 2 名

5. 補正命令の日付 昭和 47 年 5 月 30 日

6. 補正の対象 明細書の図面の簡単な説明の欄

7. 補正の内容

明細書第 5 頁第 15 行の「第 2 図」とある
のを「第 3 図」と訂正する。

48-104971-11

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record.**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.